

2010年度(平成22)年度 第5回理事会記録

日時：2010年（平成22年）12月11日（土）14:40~16:55

場所：八重洲倶楽部 第2会議室

出席者：内山安男（理事長）、牛木辰男、岡部繁男、河田光博、藤本豊士（以上、常務理事）、明坂年隆、井関尚一、岩永敏彦、小路武彦、小林 繁、坂井建雄、佐々木順造、仙波恵美子、寺島俊雄（以上、理事）、相磯貞和、渡辺雅彦（以上、監事）、依藤 宏（常任幹事代理）天野恵子、中村 聡（以上、口腔保健協会）

欠席者：天野 修、石村和敬、佐藤洋一（理事）

I. 理事長挨拶

科研費の現状とそれに対して研究、教育の場がよくなる方向での努力をおこなっていることを挙げ、理事への協力を要請した。

II. 議事録署名人の選任

議事録署名人として、坂井建雄、井関尚一両理事を推薦する旨の提案がなされ、承認された。

III. 会議記録の確認

- (1)2010年(平成22)年度第2回理事会記録、同議事録（案）
- (2)2010年(平成22)年度総会記録、同議事録（案）
- (3)2010年(平成22)年度第3回理事会記録、同議事録（案）
- (4)2010年(平成22)年度第4回理事会記録、同議事録（案）

IV. 報告事項

1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

(1) 教授就任による学術評議員申請

10件の申請があり、すべて有資格者であることの確認がおこなわれた。

(2) 持ち回り理事会結果について

メール会議の形で実施された第3回、第4回理事会の結果確認がおこなわれた。

(3) 名簿について

平成22年11月30日現在の累計販売冊数767冊、未入金分を除外し口腔保健協会への手数料を除いた今年度の名簿収入は697,475円となる。未納者への対応の他、残部については保管料がかかるため、50部を残し残り約400部を溶解処理することが報告された。

(4) 「人体標本の展示に関するガイドライン」に関して

9月25日付けで制定された標記ガイドラインに関する報告と意見交換がおこなわれた。

(5) 外科手術手技修練について（この項は坂井理事よりの報告）

厚生労働省の「サージカルトレーニングのあり方に関する研究」研究班に解剖学関係者として他の5人とともに参加している坂井建雄理事から、同班の研究代表者の要請により6名でまとめた「外科手術手技修練について 肉眼解剖の立場からの意見について、論点整理」が紹介された。その後、出席者による意見交換がおこなわれた。

(6) 申請による学術評議員の申請状況と申請資格確認について

12月10日現在の申請状況の報告と申請資格確認がおこなわれた。

(7) ホルマリン作業環境測定アンケートについて

昨年度の標記アンケート結果と今年度も同様のアンケート調査を行っていることの報告があった。

(8) 次期役員選出選挙について

12月20日(月)必着で標記選挙が実施されていることが報告された。

(9) 文科省実地検査結果について

文科省研究振興局学術研究助成課より通知のあった実地検査結果について資料をもとに報告がおこなわれた。

(10) 将来計画WG中間答申について

標記中間答申が紹介され、ホームページに掲載、広く学会員から意見を募ることが報告された。

(11) その他

特になし。

2. 編集報告 (藤本編集担当理事)

(1) 科研費補助金(研究成果公開促進費)申請について

ASIの平成22年度科研費への申請とその結果の報告がおこなわれた。

(2) 解剖学雑誌執筆規定改正について

標記執筆規定を時代に合わせたものに改定したことが報告された。

(3) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告 (河田企画・渉外担当理事)

(1) 平成22年度奨励賞・解剖組織技術士功労賞について

標記2件の賞の申請状況について資料をもとに報告があった。

(2) 2011(平成23)年度総会・全国学術集会準備状況について(この項は内山理事長よりの報告)

標記総会・全国学術集会会頭の内山理事長より資料に基づいて説明があった。

(3) 2014(平成26)年度総会・全国学術集会開催校について

9月30日付で締め切ったところ、応募は自治医大のみで、自治医大での開催が決定された。

(4) 2012(平成24)年度総会・全国学術集会開催日程について

2012年3月26日(月)~28日(水)に山梨大学甲府キャンパスで開催されること、およびその準備状況等について報告がおこなわれた。

(5) 一級解剖技術士審査結果について

3名の応募者について資格有り認定した旨の連絡が解剖組織技術士資格審査委員会よりあったことが報告された。

(6) 生物科学学会連合について

第1回定例会議の報告が資料に基づきおこなわれた。

(7) 第6回APICAについて

2011年7月にインドネシアで開催される第6回APICAについて報告がおこなわれた。

(8) 第28回日本医学会総会について

学術講演会は2011年4月8日(金)~10日(日)におこなわれることなどが紹介された。

(9) その他

特になし。

4. 会計報告（牛木会計担当理事）

（1）支部学術集会決算について

近畿支部以外の5支部6集会の決算について報告があった。

（2）2010（平成22）年度総会・全国学術集会収支決算について

標記総会・全国学術集会佐藤洋一会頭よりの決算報告書をもとに報告がおこなわれた。なお、収支差額は約125万円の黒字で解剖学会に返却予定である。

（3）平成22年度中間決算書について

11月30日現在の中間決算について資料をもとに説明があった。

（4）その他

特になし。

Ⅲ. 審議事項

1. 名誉会員・永年会員の推薦について

名誉会員推薦については今回は該当者がいないこと、永年会員については推薦候補者リストが確認され、総会に上程されることが承認された。なお、関連して永年会員の終身会費を10万円から12万円に改定することが提案され、審議の結果反対意見はなく、承認された。

2. 一般社団法人移行について

司法書士のコメント入りの新定款案が提示され、理事長から重要な改訂なので熟読のうえ、メールで意見を提出してほしい旨の要請があった。

3. 事務委託契約について

口腔保健協会からの平成23年度の事務委託再契約に関する書類が提示、審議され、承認された。

4. 平成23年度事業計画(案)について

資料をもとに審議がおこなわれ、承認された。

5. 全国学術集会への抄録集補助について

第116回学術集会では抄録集作成代の補助はおこなわないこと、および支部学術集会の抄録については冊子体を廃止し、電子化する方針が承認された。

6. 平成23年度仮予算書案について

標記案について説明がおこなわれ、審議の結果、承認された。

7. シュプリング・ジャパン社とのASIの契約について

オンライン版のみ発行の長短について説明がおこなわれ、契約改定に関する3案が提示された。討議の結果、継続審議とされた。

8. 公印規則の一部改正について

文科省実地検査での指摘事項に対する対応として標記の改正が提案され、承認された。

9. 会計処理規則について

文科省実地検査での指摘事項に対する対応として標記の規則制定が提案され、承認された。

10. 旅費規程の制定について

文科省実地検査での指摘事項に対する対応として標記規程の制定が提案され、承認された。

11. 解剖組織技術士認定規約の改正について

解剖組織技術士資格審査委員会から提案の、特殊組織技術士と組織技術士の一本化について審議がおこなわれ、承認された。

12. 男女共同参画推進委員会の設置について

標記委員会の設置提案に至る経緯が説明され、解剖学会の常置委員会として標記委員会を設置することが提案された。審議の結果、設置が承認された。

1 3. 学術評議員選出規約の改正について

学術評議員選出規約1.(3)「正会員として10年以上」を「正会員として通算10年以上」に改訂する案が提案され、承認された。

1 4. 医学研究のCOI（利益相反）マネジメントに関するガイドラインについて

日本医学会から標記に関する草案と意見聴取の連絡が届いたことが紹介された。解剖学会としてはCOIに関する委員会の設置は当面は考えないとの提案がなされ、承認された。

1 5. その他

次回理事会は平成23年1月29日(土)に13:30から開催することが決定された。

上記の2010年度（平成22年度）第5回理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2011年（平成23年） 月 日

社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人